

令和4年(2022年)度事業報告書

自 令和4年4月 1日
至 令和5年3月 31日

I.事業

1.事業概要

令和4年度はコロナ禍が続く中、各事業理事を先頭に事業運営をしつつ、職員が協力し合い昨年並みの計画を達成する事ができた。

「介護支援事業」

コロナ感染予防対策として職員全員の定期抗原検査実施を継続し、利用者や職員の安全と安心に努めることが出来た。

「スマイル事業」

事業宣伝を重視した活動で利用者増へとつなげることができた。また地域での催しに積極的に参加をし、交流を深めることができた。

「児童デイ事業」

利用児童の家庭とのコミュニケーションにおいてSNSの利用や家庭支援等で良好な関係性を向上させた。

コロナウィルス感染の渦中に冬期にはインフルエンザも蔓延した状況となったが、利用ご家族や学校と連絡を取り合って感染防止に取り組んだ。

その影響もあり利用児童が減ることとなり、売り上げに影響した。

「子ども預かり送迎支援事業」

長期休み時期は利用者が減少する傾向にあるが、全体として増加傾向にある。

キャンセルについてはコロナによる理由ではなく、利用者の事情によるものが多かった。

養育支援、家事支援については昨年度を上回る利用があった。

「サロン事業」「独自(子育て集団保育)事業」「サロン豆の木(ひとり親家庭支援)事業」

足立区主催のイベントも開催傾向にあり、集団保育の件数は伸びつつある。

同様にサロン利用者も増加傾向にあるため、引き続き満足度の高いイベント開催が求められる。

西新井(ちびっこガーデン)とポンテポルタ千住大橋のサロン運営は令和4年度いっぱい終了した。

・キャリアパス規定を見直し労働基準監督署に届け出た。

・自転車使用規定を全職員に周知し注意喚起した。

・「ZOOM」を利用しコロナ禍でもリモートで社内研修や職員交流会、会議等を行う事が出来た。

2.事業活動概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事人数	受益対象者の 範囲及び人員	売上実績 (千円)
介護関連	ぷらちなくらぶ ・訪問介護	24時間毎日	利用者宅	13人	足立区内 利用者の べ175人	6,820
	スマイルぷらちな ・小規模多機能型居宅介護	24時間毎日	施設及び 利用者宅	14人	のべ 登録233人	65,825
障がい 関連	ぷらちなくらぶ ・総合支援 ・相談支援	24時間毎日	利用者宅及 び介助先	27人	足立区内 利用者の べ1000人	82,185
	ぷらちな児童デイ ・放課後等デイサービス事業	平日11:00～19:00 長期休暇時季 8:00～19:00 (送迎時間含)	ぷらちな事 務所1F,2F	15人	足立区内外 利用者の べ3728人	32,934

子育て 関連	・子ども預り送迎支援事業 ・養育支援事業	6:00-22:00	利用者宅 サポーター宅	コーディネーター 5人 サポーター のべ1,342名	足立区内 利用者のべ 9,607人	52,284
	ハートアイランド新田 ・幼稚園送迎ステーション事業 ・地域人材連携サロン事業	送迎ST 平日 7:30-9:30 16:00-19:00 子育てサロン 平日・土曜日 10:00-16:00	新田キッズ ルーム (新田3)	7人	登録児童 229人 足立区内 利用者のべ 2,698人	10,016
	西新井サロン (ちびっこガーデン) ・子育てサロン事業 ・一時預かり事業	子育てサロン 9:00-18:00 (閉館日除) 一時預り 10:00-16:00 (平日のみ)	ちびっこ ガーデン (栗原1)	10人	足立区内外 利用者のべ 31,523人 足立区内 利用者のべ 947人	9,543
	千住大橋サロン (ポンテポルタ千住) ・子育てサロン事業	子育てサロン 10:00-18:00 (閉館日除)	ポンテポルタ (千住橋戸町)	10人	足立区内外 利用者のべ 13,732人	8,782
	集団保育事業	9:00-18:00	区内各保健 センター等	のべ 約100人	足立区内外 利用件数 のべ59件	1,147
	一時保育独自サービス	6:00-22:00	利用者宅等	のべ 約200人	足立区内外 利用件数 のべ252件	
	サロン豆の木 ・ひとり親家庭支援事業	第2・第4土曜 (日曜・祝日の 場合あり) 14:00-16:00	区内 学習 センター等	のべ 約50人	足立区内 利用者のべ 208人	2,384

3.事業の成果

(1)訪問介護事業・障がい者総合支援事業

- ・コロナ感染予防対策として職員全員の定期抗原検査実施を継続し、利用者や職員の安全と安心に努めた。
- ・定例会の参加者を増やすために開催日時について見直し、参加できない職員については各自研修動画を視聴しレポート提出の形式を追加した。
- ・事業所加算Ⅱをとるために必要な育成計画として、職員の年2回の面談と目標管理を実施できた。
- ・求人広告等活用したが、採用までは至らず若い人材を増やす計画は実行できなかった。
- ・事業部ミーティングを週1回行い、情報共有や業務内容の整理、業務効率をあげることができた。
- ・介護支援・相談支援請求ソフトの入替に、東京都デジタル機器導入促進支援事業補助金を利用することができた。
- ・相談支援では利用者増加に伴い、業務方法を工夫して効率化を図ることができた。

(2)小規模多機能型居宅介護「スマイルぷらちな」

- ・コロナウイルス蔓延の状況下、大幅な利用者減のスタートとなったが、事業宣伝を重視、また、困難なケースとして紹介された支援を複数成功させることで地域包括支援センターの信頼を得ることにより利用者増へとつなげることができた。
- ・ボランティア主催の体操への参加・絆のあんしんネットワークへの参加等、地域での催しに積極的に参加をし、交流を深めることができた。

(3)児童デイサービス

- ・児童デイ事業の経営安定化策の最優先事項と位置付けた2号店開設に取り組むも「物件」及び「人材」を決められず、未達成となってしまった。
- ・児童発達支援サービスの認可を取得し、「多機能型放課後等デイサービス」事業所としたものの令和4年度内で立ち上げられず経営安定化に寄与できなかった。
- ・課題となっていた利用児童のご家族を対象とした「保護者会」を初めて開催したいへん好評をいただいた。

第1号議案

(4)子ども預かり送迎支援事業

- ・前年度比はおおよそ100%～120%の件数で推移。
- ・CD交代のため引継ぎ開始。
- ・定例会にトレーニングを導入したり、事前に内容を告知することで参加率アップを図った。
- ・CDの働きかけにより、報連相の徹底や「ヒヤリハット」の提出などSPの意識改善を改めて促した。

(5)ハートアイランド新田サロン

- ・「幼稚園送迎ステーション」「預かり送迎支援事業(新田地域)」の拠点としても活動。
- ・数人のスタッフのコロナ罹患になった際も、日頃からコミュニケーションが取れていたため、大きな混乱もなくスムーズに対応ができた。
- ・ステーション利用対象に年々少を追加。
- ・ブログなどの広報活動を積極的に行った。

(6)西新井サロン(ちびっこガーデン)

- ・指定管理者と協力イベントを強化。
- ・一時預かり事業はおおむね好調で下半期はほとんどの日が6名(定員)を維持。
- ・ブログなどの広報活動を積極的に行った。
- ・令和5年度からは指定管理者のみでの運用。

(7)ポンテポルタ千住大橋サロン

- ・コロナ禍の影響よりスタッフのシフト調整が大変なタイミングがあった。
- ・赤ちゃんずに代わるイベントとして月1回、保護者向けのイベントを開催。
- ・ブログなどの広報活動を積極的に行った。
- ・令和5年度からは運營業者交代。

(8)「地域保健センター/男女参画プラザ等集団保育事業・一時保育独自サービス」

- ・「集団保育」については、昨年度比120～150%の件数で推移している。
- ・「一時保育独自サービス」については、習い事等の安定した利用があり、区外への送迎など依頼も増えている。

(9)サロン豆の木

- ・コロナ禍により2回開催中止を余儀なくされた。(延期なし)
- ・「新たな体験機会」をテーマにイベントを企画し、父子家庭や新規参加者の獲得に繋がった。

Ⅱ.組織運営関係全般

- ・昨年に引き続き、児童デイ職員が「サロン豆の木」「千住大橋サロン」への応援勤務、事務局職員も「千住大橋サロン」への応援勤務など事業部間においてのワークシェアリングを行った。
- ・新型コロナウイルス感染症関連の支援策をスピーディに利用しコロナ禍のリスクに対応した。
- ・定期的にPCR検査、抗原検査を実施しコロナ禍のリスクに対応した。
- ・ワークライフバランス認定を利用した外部講師による研修、Eラーニングによる研修等で「ハラスメント対策」「労災防止対策」その他職員のスキル及びモチベーション向上のための研修を行った。
- ・社内研修や職員交流、会議等を「ZOOM」を使いモートで行った。
- ・情報共有のツールとしてLINE WORKSを導入した。
- ・緊急時に備え、BCPの体制を構築することは達成できなかった。

令和4年度 決算報告書

第 22 期

自 令和 4年 4 月 1 日
至 令和 5年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 ふらちなくらぶ
理事長 小谷典史

令和4年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位:円)

科 目	金	額	
(資金収支の部)			
I. 経常収入の部			
1. 会費・入会金収入		88,000	
正会員会費	88,000		
2. 事業収入		271,924,358	
介護事業収入	6,820,646		
支援事業収入	82,184,972		
スマイル事業収入	65,825,670		
児童デイ事業収入	32,934,515		
子育て事業収入	52,284,175		
新田事業収入	10,016,000		
ちびっこ事業収入	9,543,600		
千住大橋事業収入	8,782,800		
豆の木事業収入	2,384,217		
独自事業収入	1,147,763		
3. 助成金・寄付金収入		1,090,000	
経常収入合計			273,102,358
II. 経常収出の部			
1. 事業費支出		232,170,412	
介護事業	9,167,542		
支援事業	66,008,894		
スマイル事業	56,485,949		
児童デイ事業	32,355,176		
子育て事業	41,515,439		
新田事業	8,714,755		
ちびっこ事業	7,447,411		
千住大橋事業	9,106,839		
サロン豆の木	620,018		
独自事業	748,389		
2. 管理費支出		41,602,424	
給料手当	15,529,541		
賞 与	690,000		
退職金	112,500		
法定福利費	2,078,113		
福利厚生費	866,803		
採用教育費	1,553,740		
外注費	760,944		
荷造運賃	5,120		
広告宣伝費	0		

会議費	0		
旅費交通費	676,916		
通信運搬費	1,972,744		
消耗什器備品費	892,388		
事務用品費	236,337		
修繕費	29,700		
水道光熱費	666,859		
諸会費	8,000		
支払手数料	213,789		
地代家賃	1,692,000		
リース料	682,510		
保険料	1,014,494		
租税公課	880,122		
支払報酬料	2,445,600		
支払消費税	5,769,200		
減価償却費	2,772,566		
貸倒繰入額(販)	22,408		
雑費	30,030		
経常収出合計			273,772,836
経常収支差額			-670,478
経常外収益			3,569,062
受取利息	546		
雑収入	3,568,516		
貸倒引当金戻入額	0		
経常外費用			855,557
支払利息	855,557		
固定資産除却損	0		
和解金	0		
当期収支差額			2,043,027
法人税等	504,279		
当期正味財産増減額			1,538,748
前期繰越資金有高			107,496,523
次期繰越収支差額			109,035,271

令和4年度 特定非営利活動に係る事業会計

貸 借 対 照 表

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位 : 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金	662,979	未払費用	19,684,058
当座預金	403,738	未払法人税等	504,200
普通預金	43,516,218	未払消費税等	1,718,300
未収入金	39,052,239	預り金	687,596
貸倒引当金	-234,313	一年内返済長期借入金	10,854,000
貯蔵品	107,000		
前渡金	53,000	流動負債合計	33,448,154
前払費用	116,453	固定負債	
預け金	45,410		
立替金	0	長期借入金	55,654,000
流動資産合計	83,722,724	役員借入金	342,307
		負債合計	89,444,461
固定資産		正味財産の部	
(有形固定資産)			
建物	27,728,725	前期繰越正味財産	107,496,523
建物付属設備	2,148,971		
構築物	2,532,916	当期正味財産増加額	1,538,748
車輛運搬具	1,730,729		
土地	77,829,403		
(無形固定資産)			
ソフトウェア	0		
保険積立金	1,443,000		
保証金	193,811		
出資金	11,000		
長期前払費用	799,139		
(投資等)			
繰延資産	339,314		
固定資産、繰延資産合計	114,757,008	正味財産合計	109,035,271
資産合計	198,479,732	負債及び正味財産合計	198,479,732

計算書類の注記

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定額法	定率法
無形固定資産	定額法	

税法上の繰延資産の処理方法

有効期間にわたり均等償却をしております

引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒の損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による
法定繰入率により、回収不能見込額を計上しております

リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引に
ついては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております

消費税等の会計処理方法

税込方式によっております

2 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 49,498,890円

3 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物	43,314,842	0	1,472,704	41,842,138	15,586,117	27,228,725
建物付属設備	17,878,900	0	687,059	17,191,841	15,729,929	2,148,971
構築物	13,507,139	0	397,396	13,109,743	10,974,223	2,532,916
車両運搬具	8,269,450	0	999,514	7,269,936	6,538,721	1,730,729
土地	77,829,403	0	0	77,829,403	0	77,829,403
ソフトウェア	669,900	0	0	669,900	669,900	0
繰延資産	1,231,816	0	139,321	1,092,495	892,502	339,314
合計	162,701,450	0	3,695,994	159,005,456	50,391,392	112,310,058

4 借入金が増減内訳

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	10,080,000	10,854,000	10,080,000	10,854,000
長期借入金	68,988,000	10,080,000	23,414,000	55,654,000
役員借入金	237,884	320,000	215,577	342,307

令和4年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

令和5年3月31日 現在

特定非営利活動法人 ぷらちなくらぶ

(単位:円)

科 目	摘 要	金 額		
I 流動資産				
現 金	現金手許有高	662,979		
当座預金		403,738		
普通預金	みずほ銀行/綾瀬支店	34,135,719		
	みずほ銀行/綾瀬支店	5,034,349		
	城北信用金庫	0		
	谷中郵便局	2,483,767		
	PayPay銀行	1,862,383	44,582,935	
預 け 金	リサイクル預託金	45,410		
未収入金	東京都国民保険連合会	27,388,444		
	足立区(委託料他)他	5,997,842		
	家庭支援センター足立	3,623,685		
	利用者負担分	2,042,268	39,097,649	
貸倒引当金			-234,313	
貯蔵品		107,000		
前渡金		53,000		
前払費用		116,453		
立替金		0	276,453	
流動資産 合計				83,722,724
II 固定資産				
(有形固定資産)				
建物	足立区加平1-8-23 232.47㎡			
	スマイル2号店内装工事	27,728,725		
建物付属設備	スマイル内装工事			
	電気・給排水・空調・ガス設備			
	昇降機			
	本部空調設備			
	本部3Fサンルーム	2,148,971		
構築物	スマイル造作工事、看板			
	前面歩道改修	2,532,916		
車両運搬具	軽自動車1台、ステップワゴン1台			
	ヴォクシー1台、キャラバン1台	1,730,729		
土地	足立区加平1-8-33 157.18㎡			
	足立区加平1-8-46 71.05㎡	77,829,403	111,970,744	

有形固定資産 計				111,970,744
(無形固定資産)				
ソフトウェア	ワイスマンIDC ジャニス自立支援ソフト	0	0	
無形固定資産 計				0
(投資その他の資産)				
保証金		1,443,000		
保険積立金		193,811		
出資金		11,000		
長期前払費用		799,139	2,446,950	
投資その他の資産 計				2,446,950
固定資産 合計				114,417,694
III 繰延資産	公共施設負担金（水道管工事）		339,314	
III 繰延資産				339,314
資産の部 合計				198,479,732
II 流動負債				
未払法人税等	当期確定申告分	504,200		
未払消費税等	当期確定申告分	1,718,300		
未払費用	3月分給与等	19,684,058		
預り金	源泉所得税、住民税	687,596		
一年以内長期借入金		10,854,000	33,448,154	
流動負債 合計				33,448,154
III 固定負債				
長期借入金	日本政策金融公庫	55,654,000		
	みずほ銀行	0		
役員借入金		342,307	55,996,307	
固定負債 合計				55,996,307
負債の部 合計				89,444,461
III 正味財産の部				
前期繰越正味財産			107,496,523	
当期正味財産増加額			1,538,748	
正味財産合計				109,035,271
負債及び正味財産合計				198,479,732

令和4年度(2022年度) 決算報告書

貸借対照表

令和5年3月31日 現在

I 流動資産	83,722,724	I 流動負債	33,448,154
II 固定資産	114,417,694	II 固定負債	55,996,307
III 繰延資産	339,314	III 正味財産	109,035,271
合計	198,479,732	合計	198,479,732

活動計算書

自：令和4年4月1日

至：令和5年3月31日

(特定非営利活動損益の部)			
第1項 特定非営利活動法人	273,102,358	第1項 事業費	232,170,412
		第2項 管理費	41,602,424
(特定非営利活動外損益の部)			
第1項 受取利息・雑収入他	3,569,062	第1項 支払利息・雑損失他	855,557
		第2項 法人税等	504,279
(繰越利益の部)			
前期繰越利益	107,496,523	次期繰越利益 (当期利益)	109,035,271 (1,538,748)

令和4年度年間役員名簿 （前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 ぷらちなくらぶ

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ☒ 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
☒ 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ) 氏名		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
1	○ 理事 ・監事	コタニ リツミ		令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	なし
		小谷 典史			
2	○ 理事 ・監事	コヤナギ ナツエ		令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	なし
		小柳 夏江			
3	○ 理事 ・監事	モリカ ヲコキ		令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	なし
		森岡 孝之			
5	○ 理事 ・監事	コイケ ケイコ		令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	なし
		小池 桂子			
6	○ 理事 ・監事	クシダ チノ		令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	なし
		櫛田 千野			
7	○ 理事 ・監事	ホシダ ナガトシ		令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	なし
		河地 伸浩			
8	理事・○ 監事	ホシダ ナガトシ		令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	なし
		本多 長利			
9	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 ぷらちなくらぶ

	氏 名	
1	小谷 典史	
2	森岡 孝之	
3	森角 美晴	
4	櫛田 千野	
5	遠藤 千尋	
6	小柳 夏江	
7	小池 桂子	
8	山口 一哉	
9	尾崎 律子	
10	河地 伸浩	
11	小宮 明子	
12		